鴨のまちプロジェクト

2022年、市制施行50周年を機に、小郡と結び付きが強い“鴨”を活用し、食文化の継承や新たな特産品開発などを目的に「鴨のまちプロジェクト」をスタートしました。さまざまなアプローチで「小郡といえば鴨」「鴨のまち小郡」を発信し、本プロジェクトを通して、地域で受け継がれ根付いている伝統的な食文化を継承するとともに、市で取り扱う鴨に対して共感性や価値を最大限に高め、独自の付加価値を創造することを目指します。

Q どうして小郡は「鴨のまち」?

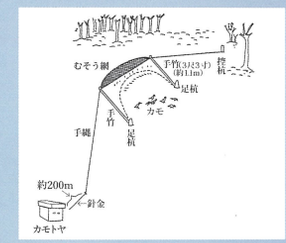
小郡市の三国地区は鴨の飛来地

9月ごろを過ぎると、鴨は寒さを避け、北国から渡ってきます。
小郡市の三国地区は鴨の飛来地として知られ、江戸時代には狩猟を行っていた記録が、昭和時代には大人も子どもも鴨を食べていた伝承が残っています。

▲井ノ浦溜池のカモ

鴨が飛来してくる理由

なぜ鴨は小郡に飛来したのでしょうか。昔から農業が盛んな小郡では、農業用水として多くのため池が作られていました。
また、現在の大きな住宅団地が開発される前、三国地区は雑木林が生い茂り、多くの沼や沢が散在し、人もあまり住んでいませんでした。ため池は鴨にとって、餌を採食しやすい場所であり、周囲の静かな環境は鴨が安心して暮らすのに最適だったようです。



▲無双(むそう)網猟の仕掛け

kamo memo

昔は藩の御猟場だった

江戸時代、小郡には久留米有馬藩の猟場があり、猟は許可された者だけが行っていました。明治の廃藩置県で、三国村にある御猟場は廃止されました。しかし、明治34年、狩猟法が制定されたため、江戸時代から猟法を受け継いできた村人たちは、鴨が飛来する池や湿地を「共同狩猟地」として農林大臣に申請し、許可を受けて猟場の保持に努めました。

小郡の鴨猟

毎年、猟期(11月15日〜2月15日)になると、伝統の「無双(むそう)網猟」が行われています。幅約2.5メートル、長さ約14メートルの横長の大きな網で、ため池や深田などにまいた青米のそばに網を設置します。鴨が来たときに遠くから針金で手綱を引っ張り、網が広がり鴨に覆いかぶさる、という仕掛けです。

小郡の鴨を取り巻く食文化

地元では昔から、甘辛い醤油につけたたれ焼きや、鴨ごはんが食されてきました。「小郡の鴨を取り巻く食文化」は、令和4年3月に世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきた食文化として、文化庁の「100年フード」に認定されました。

100年フード

鴨の情報色々あります!
HPもチェック!

小郡市ホームページ
鴨のまちプロジェクト
https://www.city.ogori.fukuoka.jp/205/278/5177

小郡市商工会
公式マスコットキャラクター
「かもんちゃん」

COME ON! KAMO FAIR!

かも〜ん! 鴨フェア

みんな揃って食べに来て!

開催期間 2025 1/14 TUE 火 ▶ 2/28 FRI 金

※画像はイメージです。

1セットあたり 500円 お得な

鴨のまち小郡でおいしくお得に鴨を食べよう!
かも〜ん鴨フェアで使える

プレミアム付き 食事券販売

先着順500セット限定!

販売額	2,500円 税込 食事券3,000円分(500円券×6枚綴り) お一人様2セットまでご購入いただけます。
販売開始	12月8日(日)
販売場所	12月8日(日)の 冬まつりにて販売開始 9日以降は市役所商工観光課で販売 販売時間 / 8:30-17:00(平日のみ)
使用条件	参加店舗で鴨料理を食べるだけ!1回の会計で鴨料理が1品以上入っていれば、何枚でも使用OK!

お問い合わせ
鴨のまちプロジェクト実行委員会事務局
〒838-0198 福岡県小郡市小郡255-1(小郡市 商工観光課)
TEL.0942-72-2111 FAX.0942-72-5050
E-mail / shoko@city.ogori.lg.jp

本事業は、アサヒビール株式会社様からの企業版ふるさと納税による寄付金を活用して実施しています。

イベント情報を配信中!
Facebook
Instagram